

私のすすめるこの1冊

飛田 祥(教職キャリア高度化センター 准教授)

『パパは脳研究者 子どもを育てる脳科学』

池谷 裕二 (著)

本書は、著者がご自身のお子さんの4歳までの成長を脳研究者視点と親視点から著した作品です。題名を聞くとマンガ?小説?とってしまうのですが、著者が脳研究者となるとやはり少し身構えてしまいます。一読難解、きっと難しい用語が出てきて敷居が高いのではないかと敬遠しそうになりますが、まったく堅苦しいものではなく、最新の脳科学の知見を出し惜しみせず、かつわかりやすく伝えておられ、大変面白い作品です。

私は、難しいことをわかりやすく、誰もが興味を惹くような書きぶりができる方に感服するのですが、著者はその一人です。また著者の子育てに対する思いや娘さんに対する深い愛情もひしひしと伝わってきます。加えて、研究者の性でしょうか、専門書ではないのに、引用・参考文献を著されており、著者の実直さが感じ取れるところに本書の魅力を感じます。そして何より脳科学という視点を通じて、現在の教育の在り方を考える一助となっているというのが私の本書に対する捉え方です。

これまで子どもの背後には、必ず保護者の考え(もしかするともっと崇高で、文化、思想、哲学等かもしれませぬ)が見え隠れし、子どもを間に挟んで、学校教育が導く社会一般の教育観と家庭が築き上げてきた教育観のせめぎあいの中で、着地点はどこか、これが子どもにとって最善なのかと自問自答しながら子どもの成長を見届けてきたように思います。

私自身、子を持つ親ですが、子どもは親の作品で

はないです。ましてや教師の私物ではありません。子どもは、自分の好きなことをやり、自分の人生を歩めばいいと思いますし、一人で立派に生きていけるように自主・自律に導くことが教育において大切なことであると思います。でもふと自身の子育て、そして教育を俯瞰してみると、親としても教師としても、何かしらの押し付けのような教育を行っていないかと、消せない足跡を振り返ることが多々あります。

とりわけ教員採用試験対策に関わっていると、自主・自律した教員になってほしいと思う反面、試験に合格するためにごく狭義な社会の判断基準の内側に学生の言動を押し込めざるを得ないという役割に少なからずジレンマを感じます。しかしそんな悶々とした中、本書は、本当に必要なのは、物事の本質や規則を見抜く理解力、先を見越して準備する対処力、未来の自分に投資する忍耐力等、今、教育界でいわれる「非認知能力」を身につけさせるということだと気付かせてくれます。教育は正しい方向に動いていて、まだまだ捨てたもんじゃないなと明るい気持ちにさせてもらえます。しかも得てして世間では校種が高くなればなるほど優れた教育が実践されていると思われがちですが、本当に必要なことを0~4歳の幼児期の子どもの成長から学ぶことができるなんて、まさに「人は人によって人になる」素敵なことだと思いました。教員養成大学で学ぶ学生には是非読んでいただき、感想を伺いたいものです。

☀️ 貸出扇風機

暑い日が続きます。熱中症など暑さ対策のために貸出扇風機を導入しました。

バッテリー式や USB 給電据え置きタイプなどいろいろ取り揃えました。カウンターで貸出いたしますので、お気軽にご利用ください。



☀️ リクエストと投票で 話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！リクエストや投票にどんどん参加してください！（リクエストは随時受付中です）

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入します。

8月の投票期間は

8月1日（木）～8月23日（金）

ぜひご利用ください



軽読書コーナーから抜き取った少し古くなった図書は整理中ですので、ご入用の図書がございましたらカウンターまでお願いいたします。



☀️ 日曜開館を実施しています

試験期間前の日曜日（8月4日）を9時から17時まで開館します。

試験勉強などにぜひご利用ください！

☀️ 夏季休業に伴う長期貸出について

学部生：7月27日（土）～9月18日（水）

院生・教職員：7月13日（土）～9月3日（火）

【返却期限日】10月3日（木）

※卒業・修了予定者は9月10日（火）まで

☀️ 雑誌の製本作業について

8月から10月中旬（予定）まで、南館1階・西館3階にある雑誌のうち、2017年～2018年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。

製本後はすべて西館3階（書庫）に並べますので、そちらをご利用ください。

※作業中は製本対象リストを図書館ホームページに掲載する予定です。

☀️ 職場体験報告

7月2日（火）から4日（木）にかけて、附属桃山中学校から職場体験実習の生徒を3名受け入れました。カウンターでの貸出・返却業務などを体験してもらいました。みなさま、ご協力いただきありがとうございました。また、8月28日（水）から29日（木）に附属特別支援学校から職場体験実習の受入を行う予定ですので、みなさまのご協力をお願いいたします。

職場体験の中学生とともに軽読書コーナー・新聞コーナーの配架替えを行いました。

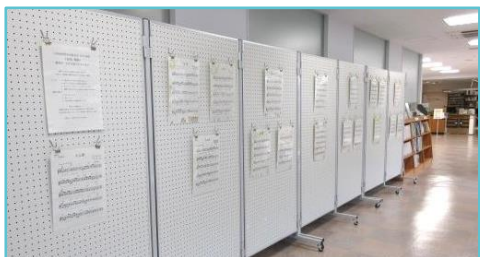
平置きの図書は中学生もおススメ！の本です。きれいにディスプレイしてくれました。

☀ イベント案内

◆リフレッシュラウンジ（北館 1 階）

小学校教科内容論 音楽
「記譜」課題作品展示会（山口博明 先生）

7月17日（水）～8月2日（金）迄、17作品が
展示されました。

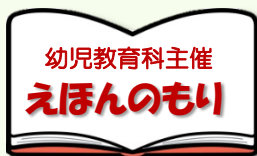


☀ 企画展示室の利用について

展示にご興味ございましたら、利用について図書館
事務室までお問い合わせください。

過去開催された公開展示：研究発表（e-Project）、
写真展、作品展、美術展、ミニ博物館 など
どんどん活用してください。

児童書コーナー（南館 1 階）



学生による絵本のよみきかせ

★8月5日（月）14:00～14:15

『まるまるまるのほん』他

★8月19日（月）14:00～14:15

『いぬがいっぱい』他



↑ 学生作のチラシ

今月の絵本カード（学生作）

『14ひきのせんたく』

作・絵： いわむら かずお 出版社：童心社



※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが
飾られていますので、ぜひ見に来てください。

京都教育大学 それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学の
シンボルフレーズです。

第 17 回を実施しました

7月25日（木）、附属図書館 1 階のリフレッシュラウ
ンジにて「それはかなう夢講座」が実施されました。第
17 回は、社会科学科の中村翼先生による「ラーメンを
お酒とともに-室町文化と日中交流-」をテーマに、お話
しがありました。定員 30 名を越える参加があり、多く
の学生や教職員で賑わいました。



「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院
のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科
学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の
先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ち
しています。

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のための
カリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

☀ 2019 オープンキャンパス

8月20日（火）10:00～16:00

通常通り開館していますが、混み合うことが予想されま
す。申し訳ありませんが、ご理解いただけますようお願い
いたします。



教育資料館 まなびの森ミュージアム

【8月の開館日】20日（火）10:00～16:00

今月の逸品
展示場所：図書館

「仏像画文軒丸瓦
（ぶつそうがもん・のきまるがわら）」
（8・9月展示）



詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。

教育資料館まなびの森ミュージアム
<http://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 榊原 禎宏(教育学科 教授)

ドイツの学習指導要領に見られるコンピテン スーバーデン=ヴェルテンベルク州、中等教育段階 I、音楽科の場合ー

榊原 禎宏

京都教育大学紀要. 2019, No. 134, pp. 35-50.

学生のみなさんは、公教育として児童・生徒に獲得が期待される「学力」は、どのように示されるべきと考えますか。このスタイルには二種類あり、その一つが教育を提供する側から、つまり「何を教えるべきか」と記述するもの、もう一つが学習する側に立って、つまり「何を学ぶべきか」と記述するものです。

さて、開発された諸国(「先進国」)では、学校教育の目標管理志向が強まっており、ドイツでも、教科・領域ごとに教育スタンダード(Bildungsstandard)の動きが明白です。この論文は、ある州の2016年学習指導要領(中等教育段階 I)を例に、中心教科(Kernfach)ではない音楽科に児童・生徒のコンピテン(遂行能力)が明示されていることを紹介しました。その特徴は、①多様性と共生を目指す社会に対応した、寛容性などの教育的価値づけ、とくに社会参加の促進、②(1)全学校種と全教科・領域に貫かれたコンピテンの指針のもと、(2)音楽科に即したコンピテンとそのスタンダードが、多面的・具体的に示され、③こうした音楽の授業を担う教員が持つべき力量にも言及していることです。

不思議なことに、日本では学習指導要領を”Course of Study”と表記するにも関わらず、その議論は「いかに指導するか」と教育する側に偏っており、生徒側の視点が弱いように思います。教育内容の入力から学習内容の出力への重点の移動は認められるものの、コンピテンとそのスタンダードの提示には至っていないと考えられるのです。生徒が獲得すべき内容が包括的に整理されることの意義と問題を考える上で、異なる地域の状況を知ることも大切ではないでしょうか。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 134 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>でもご覧ください。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2019年8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8/5-8/9 前期末試験
8/10-9/30 夏季休業
8/15-8/16 夏季一斉休業

2019年9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

9/4 館内整理日
9/14 大学院入試

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版 OPAC

(QRコード)

<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.227 (2019年8月号)

発行日:2019年8月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION